**平成３０年６月１５日（金）**

**新聞社様・軽金属同友会青年部　懇談会**

**・青年部について**

1. 会に入ったきっかけを教えてください

・業界情報の共有や品物の知識を得る。人脈を広げる

・若手の勉強の場として参加させて頂いたのがきっかけ

・同業他社、社長のご紹介

・父（社長）の勧め

・世代交代・社内の担当交代の為

1. これまでの青年部での活動で印象に残ったことはありますか

・いろいろな所に研修で行ったこと。見たもの全て良い経験になった。

・他組合との交流。

・軽金属同友会と東京非鉄での合同工場見学会

・ライバル会社ではあるのですが、同志として接し、いろいろな情報交換ができるところ。

・会員の皆様が仲も良く活気があり頻繁に情報を交換されている様子。実りある会合だと感じている。

・部長の市況レポートは良いと思います。続けてください。ありがとうございます←加藤

・弊社へ工場見学に来ていただき、会員の皆様に業務内容を知ってもらえたこと

・忘年会の韓国料理屋で刺身がいっぱい出てきたこと(笑)・藤原商店さんでのＢＢＱ

1. 親会との違いについてのアピールを

・毎月行われているのでタイムリーに情報交換ができる。本音で語れる。

・支部の枠がなく、リアルタイムな情報交換ができること

・次の世代に中心となる人たちで構成されているので、会社や業界の将来について自由に意見交換ができる。

・現場の方や、営業実務者が多いので色々な情報が得られる。

・フレッシュさ、柔軟さ、無知さ（吸収力）

・普段、聞くことが出来ないような、初歩的な質問が出来ること。

1. 青年部として特に力を入れていく活動（行ってもらいたい事等）

・メーカー・商社・他団体との交流。勉強会（アルミにかかわらず）などの開催。

・新製品などの情報（類似商品の注意点等）

・研修（メーカーの工場見学・他業種を含む）など知見を広める活動。スクラップ原料に対する知識の向上

・売ります・買いますコーナー。雑線・基盤・ニッケル等や不要な鉄箱・入れ替え時のフォークリフト等

・もっと多くの会社に参加してもらい若い世代で更に業界を盛り上げていきたい

・横のつながりを大切にしていきたい（情報交換など）

・良い活動をしてもらっているので特になし

・青年部会員の増加

**・業界について**

1. リサイクル事業の魅力や将来性についてのお考えを

・リサイクル事業の魅力についてのＰＲは重要。無くなる業種ではないが、世の中のトレンドに乗らないと淘汰されてしまう。先代の土台は引き継ぎ、時代の流れに合わせる。

・無くなる仕事ではないが、現時点では人口減少と共に縮小方向だと思います。

→将来を考えると新しい仕事へのチャレンジは必須だと思う。

→その事で流通の先細り、商いの幅が狭くなってしまう事を念頭に国内外の活動を増やしていく。

・高い売り先を確保し高く仕入れる状態が続くと景気が良い時は良いが、問屋同士の首の絞め合いになるのではないか

・取扱量が増えればそれだけ利益になる事業。ただ、年々取扱量も減っているので将来的には不安である。

・品物を見る目、知識を養うことで儲けに直結してくることは魅力の一つ。将来、今扱っている以外の品物にも目を向けることが絶対必要になってくるはず。

・大きなリサイクルの流れからみると総合リサイクル企業などの資本力が豊かな所に行きつくのでは？

・生産量の減少や異業種参入で先行き不安定な要素が多いのも確かなことです。

・やり方次第では仕事の幅が広がり、社会貢献にもなる。競争は激しくなると思うが無くなる仕事ではない

・資源を大切にする意義、社会貢献していることを次世代に伝えていきたい。

・いろいろなものに触れられて、いろいろな人に出会えること

・都市鉱山（スクラップ）から製品が作られる過程を垣間見ることが出来る。

・金属リサイクルのパイオニアとして産廃になるようなものを付加価値を付けられるようにしたりできる仕事

・継続的な社会の持続のために無駄なく有効活用していくことはこれから更に重要視される課題。リサイクル事業は世界で直面しているあらゆる問題に解決策を導き出せる可能性がある事業。

・資源の少ない日本にとって必要不可欠。アルミは生活の近くにある資源でありまだまだ用途が拡大すると思われる。

・飲料缶リサイクル事業は初期投資はかかるが安定した量を確保できる。アルミ缶入札系はまとまった量をメーカーに供給できるが薄利。

・会社組織として利益を追求する以上、どうしても譲れない部分もあり、行政との協力などが受けられるか否かでリサイクル自体が拡大できるかが決まるように思います。

・廃棄物と考えられている物から有価物を選別しごみの減量化になっている。今後もなくならない業界

1. 直近のスクラップの需要動向や発生状況について教えてください

・地域・品目によって差があると思うが、全体的に発生量が少なく、売り単価は上がっているが需要が弱い。

・スクラップの発生状況は悪くないが、スクラップ需要はウワ物は売れるがスソ物が売り辛い

・合金メーカー等各社フル生産状態だが原料在庫は潤沢にある。需給バランスが悪くスクラップは余剰気味

・材料屋から工場へのリターン材が増え、一般問屋の介入が難しい

・軽圧メーカーは生産が好調であるが、生産効率、人員の問題等でスクラップよりビレットを圧延しているメーカーが多いため一定の量しか売買が出来ない。

・市中スクラップは品薄中。雑品などの輸出規制により解体品は増加傾向

・雑線や質の悪いミックスメタルの売り先に困っている話をよく聞く。今回の中国の規制が輸出にどれだけ影響を与えているか現場で感じた。

・中国の輸出規制の影響により、産廃業者に品物が流れるようになった。

1. 品質問題など業界全体が抱える課題と対策について教えてください

・労働人口減少による人手不足により廃業する業者が増えている。人手の確保は喫緊の課題

・国内製品の売れ具合でスクラップ原料の売れ行きが決まってしまっている。

安価な輸入塊ではなく、国内塊を優先利用してほしい（スクラップの価格や購入量の是正）

その為にはメーカーへの安定的なスクラップ原料の供給が必要

・中国のスクラップ不足。ゾルバが入ってこないため日本産スソ物スクラップを積極的に購入している模様。雑品からのシフトが今後日本にどういう影響を及ぼすのか・・・

・バーゼル対策として、いかにゴミを有価物に変えるかが課題

・アルミの話ではないが、電線などの被服（チップ）の処理に関してはどの会社でも問題視している

・輸出しづらくなっている雑品類を、いかに国内メーカー向けに販売できるスペックにしていくか

・スクラップの品質問題。分析力が上がっているので、徹底した選別と買い入れ

・高品位な選別とダストの処分を両立させることは大きな課題ではないでしょうか

・軽量化などにより今まで発生していたスクラップとは違う合金などが出てきた際の対策が必要

・町工場の閉鎖により、ツボ上げ業者さんの取扱量減が問屋の取扱量減につながっている

・メーカーへのリターン化

・異業種の参入・反対意見で異業種との提携を模索

**・**リサイクル業界のＰＲ活動

**・将来について**

1. 事業継承など将来に向けての展望を教えてください

・創業者と自分の二人で代表取締役制をとっており徐々に許可や契約を切り替えてきた。後継者問題については近い将来出てくると思います。

・将来性や見通しが良くわからずビジョンが見えないのが問題

・なくなる職種ではないが、継承できる人材が育たなければ廃業もしくはＭ＆Ａしかない。将来の子供たちに良いものを残していけるように努力する。

・跡取り問題。身内で継ぐ人がいれば良いが、将来的には不安である。

・この業界では身内での継承がほとんどですが、個人的には力のある有望な方でも問題はないと思う。

・継承を受ける側だが、代が変われば事業の内容も少なからず変化すると思うので、新たな商材や業務内　　　容については日々模索しております

・今まで築き上げてきたものを守りつつ機会があれば新しいものを取り入れられる柔軟な考え方が必要

・何でも中国に送りつける時代は終わったので自社でどこまで選別できるかが課題。若者の育成・近隣トラブルなく細く長く商売をしていきたい。

・新卒者や若手を雇用し、作業工程の効率を上げるための機械の導入。３Ｋのイメージを払拭する。

・異業種との提携をしていかないと生き残るのは難しいのかと

**・その他**

1. 同友会の統計で取扱量が２年連続で前年度増になった要因

・経済動向が緩やかな回復に向かっているのではないか。2016年後半まで続いた下げ相場により同業者　　　　　が淘汰されたのか？アルミスクラップの魅力が薄れ専業者に荷物が集まっているのか？

・環境規制の強化により輸出が難しくなっており、その分が国内回帰している物もある。

・同友会内での売り買いによりダブルカウントされている可能性あり。

・企業努力の向上

・自動車生産台数の回復・トラック架台需要の増加・円安、好景気・価格が上がった影響

・同友会での情報交換。地方業者やメーカーとの交流。→売り先の幅が広がった為

新聞社さんへの質問事項

**・上半期のまとめと下半期の展望　　　　　　　　　発表**

**・記者さんから見た、今後の問屋業・業界の今後　　発表**

・どのように市況を決め、発表されているか？何社くらい取材され記事にしているのか？

・新聞の発行部数（増減）・新聞一部に対して何名の記者が携わっているのか・新聞社の社員数

・錫の建値の決め方（産業新聞社さん）

・海外のリサイクル事情に興味があります。海外と日本との比較などの記事が読めればと思いますが、そういった取材などはどの頻度で行かれているのでしょうか？

・上海支局をお持ちの新聞社さんがありますが、その他の地域に新たに出される予定はありますか？

　また中国以外にも注力して情報を得ようとしている地域はありますか？

新聞社への要望

・価格相場の表をもう少し見やすくしてほしい

・品目の説明欄が欲しい

・入札シーズンの初めに値段を公表されるとその値段がベースになることが多いのでアルミ缶の入札値段を載せて欲しくない。